



老春

ろしゅんの
たわごと

巻頭言

戯言

No.006 「王様の耳はロバの耳」

放 送不可能、という題名の映画を観た。憲法で保障されて

いる言論の自由が影が忍び寄っている。テレビに登場するジャーナリストは真実を語っていないか、語れない。報道の自由で日本は後進国だと指摘されている。

そうした中であつて注目されているジャーナリストが八十九歳の田原総一郎氏だ。彼の取材力、追求力には目を見張るものがある。今回、この映画は小泉純一郎元首相に切り込む田原総一郎氏の対談である。テーマは小泉氏がライフワークとして取り組んでいる「原発ゼロ」の訴え。小泉氏は現役の時は「原発推進」だったが、政界を退いてから「原発の安全、クリーン、低コスト」の神話は、すべてウソだった。私はダマされていたと説得力がある内容を展開。

映画にとくに目新しさはないが、非常にうまく仕上がっている。高齢のふたりがこの難しいテーマに取り組んでいる姿には敬服したい。原発は廃棄物の貯蔵所の建設の見通しが立たないので、やがて行き詰まるのが目に見えている。地産大國は「ロバの耳しか持たない」と、痛烈に批判している。地震大國の日本で想定していなかったとは二度と許されたい。

文・写真 岡田清治(一九四二年生まれ)

FAX: 0569-34-7971

メール: hiromitsu@akai-shinbunten.net

読者の方々の感想、意見、コメント等を上記のFAXかメールでお寄せください。一稿に考えます

SEIJI OKADA
岡田 清治

1942年生まれジャーナリスト (編集プロダクション・NET108代表)

著書に「高野山開創二百年 いっぱいさん行状記」「心の道草」「あなたは社員の全能力を引き出せますか!」「リヨンで見た熊」など多数



